

【様式第 4 号】

令和 7 年度 第7回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 ほどほどの会 会議録	
日時	令和 7 年 10 月 21 日（火）15:30～17:00
開催場所	常盤台病院
出席者	田中（わおん）、加藤（リンク）、松浦（常盤台病院）、山本（区役所）、遠藤（基幹相談支援センター）、西東（今井地域ケアプラザ）、佐藤若・大方・実習生（生活支援センター）、（敬称略）
欠席者	霜島、新井田（あかね工房）
開催形態	公開（傍聴人： 名）・ <u>非公開</u>
議題	Ⅰ. 普及啓発 〈OT プログラムほどほどの会について〉 ① R7 年度スケジュールについて 下半期の常盤台病院 OT の活動に参加し、来年度以降の活動内容の検討材料を収集する 〈OT 松浦氏より〉 ・R7.11.4～新プログラム開始（各病棟・OT 室にてそれぞれ実施） 各病棟デイルームで実施→余暇体験 OT 室→目的をもった数人の小グループで行うプログラムをスポット的に実施。 例：調理、外出（公共交通機関の練習・買い物を目的としたもの） など ・11 月の予定 おやつ作り：11 月 17（月）、27 日（木） 外出：11 月 26（水）AM 9:30～12:30 オリジナルソング作り：11 月 12 日（水）、26 日（水）PM 〈今後の予定〉 11 月：11/18（火）AM 生活教室同行 参加者：基幹・遠藤氏 11/26（水）AM 外出同行 参加者：わおん・田中氏 センター・佐藤 12 月：参加メンバーを変え、見学・同行実施予定 1 月：ほどほどの会にて OT 見学・同行の総振り返り。R8 年度活動内容協議 2 月：来年度活動予定決定 ② R8 年度スケジュール →R7 年度の見学会をもって次年度プランを検討していく。 検討事項：内容、開催頻度、曜日、時間 ・目的 希望することができた等の成功体験や外とのつながりから退院につなげてもらう 本人のできることの再発見・スタッフの地域移行の再認識の機会としても活用 〈OT 松浦氏より〉 ・地域の目線をいただきたい（地域支援者から見て退院に必要なこと 等） ・ほどほどの会にはスポットプログラムに見学・参加（フォロー含め）をしてほしい →まずは病院の企画の中に入れてもらい、患者と支援者の顔つなぎ、退院に向けた提案を行えると良いか。

※責任者確認・リスク検討を行ったうえで実施できるとなご良い。

常盤台病院では病院担当者により計画書作成のうえ企画・実施している。

〈プログラム内容の大枠協議〉

R7 年度の見学・同行をもとに活動内容協議予定

〈企画案〉

・茶話会の参加

・生活あるある講座→地域生活での悩み困りごとの共有

・OT にて検討中の課題目的集団（4-5人の小集団）、大集団それぞれに合わせたプログラムの検討

2. その他

〈議事録の参加者指名の記載について〉

・継続して名前を記載。自立協 HP 掲載時も同様。

〈自立協コラムについて〉

・深澤氏にて 10 月コラム執筆予定だったため要確認

〈区精神ネット全体会〉

・10月実施。動画作成について田中氏より周知・報告をしている。生活支援センターから、フォーマットを送付。11月区精神ネットにて再周知。

・生活支援センターにてフォーマットを埋め、見本として配布予定。

・11月中に希望事業所がなければ、同月末にほどほどから事業所へ直接依頼をかける

・今後の流れ

11 月中：フォーマット送付

1 月～：動画作成開始

3. 次回内容

・動画進捗について

・OT生活教室同行振り返り、12 月予定について

次回：11 月 18 日（火）15:30 ～

場所：常盤台病院